

地震や津波などの「災害」が発生した時の注意点！

建物の倒壊

強い揺れなどによって、建物本来の耐震性が失われている可能性があります。まだ大丈夫と思ってても、次の地震などによって、建物の倒壊する危険性が高まっています。

特に昭和56年以前の建物は、耐震性が今の建物より頑丈ではありません。十分に警戒する必要があります。

防 犯

災害時は、避難所へ避難していると、空き巣被害が多発します。

避難するときは、電気のブレーカーを落とし、ガスや水道の元栓を閉め、戸締まりを行い、玄関の扉には連絡先や避難先などを書いた紙を貼って、避難所へ避難してください。

火 災

ご自身の建物から火災が発生していなくても、周囲の建物から延焼する場合があります。また、遠くで火災が発生して大丈夫と思ってても、災害時はすぐに消火活動ができるとは限りません。風などで火の粉が飛び、離れた場所でも火災が発生する恐れがあるため注意が必要です。

その他

地震などの発生後、建物に被害がなくても、電気のブレーカーにはご注意ください。ブレーカーを戻して、通電後、漏電などにより火災の原因となる恐れがありますので、点検をしてからブレーカーを戻すようにしましょう。

また、家族がばらばらにならないよう、避難所の場所と避難経路は、災害前に確認しておきましょう。

※各自治体の指示に従ってください。

※災害発生後の応急危険度判定の実施する場合、判定員が敷地内に立ち入ることがあります。

